

愛媛の考古学を見て（松山市考古館）

愛媛県立松山西中等教育学校 2年4組 工藤花

〈選んだ理由〉

考古館には家族と何度も訪れたことがあるが、仕事をしている人の姿や役割は何も知らなかった。裏でどのような仕事をし、どのような役割を持っているのか知りたいと思った。また、歴史が好きなので、学芸員から直接、歴史について学びたいと思った。

〈職場体験学習で勉強になったこと〉

考古館が担う役割は、主に「発掘調査」と「教育普及」の二つである。

「発掘調査」では、主に**発掘調査**(測量・記録など)、**出土物整理・保存処理**(遺物の復元・実測など)、**収蔵**、**研究**(調査報告書の刊行)の五つを行う。

「教育普及」では、主に**展示**(特別展・常設展)、**イベント**(火起こし体験など)、**出前教室**、**考古体験教室**の四つを行う。

土器の復元の時は、土器の粘土の質をみて復元をする。集中力を保つ必要がある。集中力が欠けることで大きなミスにつながる恐れがある。どの仕事もお客様のための仕事であったり、危険が伴う仕事であったりするので集中力が欠かせない。

実際に仕事を見学・体験して、仕事は一人でしているのではないのだということが分かった。一つの作業が遅れると、後の作業も必然的に遅れてしまう。一人の小さな遅れやミスが遺物を壊すことにつながったり、始めの段階にあと戻りしてしまったりする。だから、自分のペースやタイミングで行うことはよい印象を持つことができない。余裕のある計画を立て、早めに取り組み、丁寧に作業を行う必要がある。多様な考え方やペースを認めつつ、多くの関わってくださる人たちのことを考えた行動をとることが大切だと思う。

〈もっと知りたいこと〉

効率よく仕事を行うために工夫している点。

やりがいを感じる時。

仕事を行う上で大切にしている点。の三つ。

少ない時間で多くの仕事を行わなければならないので、工夫している点があれば知りたい。

大切にしていることを聞き、今後の生活に生かしていきたい。

〈心に残った言葉〉

「失敗も無駄ではない」

よく聞く言葉だが、私は失敗することはよくないと思ってしまう。しかし、この言葉で、失敗があるからこそ成功できるのだと思った。